

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成30年3月15日
理事長 松山 良一

**2020年までに4,000万人の訪日外国人旅行者を目指す日本
現在、東南アジアの旅行者が増加中！
急成長をみせるベトナム・タイ・インドネシアでの訪日プロモーションをご紹介します**

観光を国の成長戦略の柱、また地方創生への切り札として、国を挙げて「観光先進国」への飛躍を図る中、日本政府観光局（JNTO）は東南アジア地域においてもプロモーションを強化しています。

- ベトナム市場においては、訪日旅行促進に貢献した現地旅行会社等を表彰するイベントを現地にて初めて開催。
- タイ市場においては、現地の大手テレビ局の人気旅番組で日本の二次交通商品に着目し、交通パスやレンタカーなどを活用した訪日旅行のプロモーションを実施。
- インドネシア市場においては、インドネシアの人気歌手Raisa Andriana（ライサ・アンドリアナ）氏を「日本インドネシア国交樹立60周年記念観光親善大使（ブランドアンバサダー）」として起用。活動のひとつとして、多数のフォロワーを持つ彼女のSNSで、日本の観光情報を発信予定。

JNTOは急成長をみせる東南アジアの各市場において、今後もその国に合った現地目線でのプロモーションを実施することで、訪日外国人旅行者4,000万人を目指していきます。

お問合せ先：日本政府観光局 海外プロモーション部 東南アジアグループ（北澤・杉浦）
TEL: 03-6691-3892 e-mail: promotion_sea@jnto.go.jp

急成長の東南アジア各地でJNTOが取り組む訪日プロモーション

【ベトナム】

訪日旅行者増加を後押しする、現地旅行会社等の表彰を初めて実施

2018年に「日越外交関係樹立45周年」を迎えた日本とベトナム。2017年はLCCの新規就航があり、2018年に入っても福島空港や新千歳空港などの地方チャーター便が就航する等、注目や期待度は非常に高く、両国の関係は益々活発になると予想されます。

そこで、2017年の訪日旅行者の増加に貢献した現地旅行会社をはじめ、航空会社やJNTOとコラボした映像が話題となった人気アーティスト Noo Phước Thịnh（ヌー・フック・ティン）氏等に対する表彰式を3月15日（木）に実施。さらなる関係構築やモチベーションアップを図ることで、訪日旅行者の持続的な増加を狙っていきます。

[JAPAN TOURISM AWARD IN VIETNAM 2017 表彰式ロゴ]



JNTOとコラボしたNoo氏の映像
（映像内に「名古屋おもてなし武将隊」、「北海道コンサドール札幌（選手等）等も登場」
楽曲名：「AROUND THE WORLD」
映像： <https://www.youtube.com/watch?v=R0nS-8RA41U>

【タイ】

人気旅番組で、鉄道とレンタカーを活用した訪日旅行をプロモーション

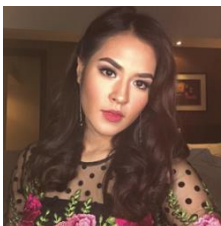
タイ市場では、訪日旅行のリピーターの増加と個人旅行化が進み、旅行先や旅行方法も多様化しています。JNTOでは日本の二次交通商品(鉄道、レンタカー)を更に定着させるために、タイの大手テレビ局の人気旅番組「Samudkojorn On The Way (サムットコジョーン オンザウェイ)」を日本の中国地方、東北地方に招請。そこで撮影された番組が、2018年1月に3週にわたってタイの地上波にて放映されました。番組ではタイの人気タレントをゲストに、交通パスやレンタカーを活用した日本の楽しみ方を深く掘り下げて頂きました。



【インドネシア】

国交樹立60周年！ インスタフォロワー数1,700万超の人気歌手をブランドアンバサダーに起用

2018年、日本とインドネシアは国交樹立60周年の節目を迎えました。そこで、60周年記念観光親善大使（ブランドアンバサダー）として、ジャズやポップスで数多くのアワードを受賞し、世界でも名高い「Java Jazz Festival」にレギュラー出演している、歌手で女優のRaisa Andriana（ライサ・アンドリアナ）氏を起用することとしました。主な活動として、日本の観光地を広めるプロモーション動画の撮影（3月中旬）や、彼女が感じる日本の魅力をSNS上で直接インドネシアのみなさまに発信して頂きます。



Raisa Andriana（ライサ・アンドリアナ）氏
1990年6月6日 ジャカルタ生まれ ジャンル：ジャズ、R&B、ポップス

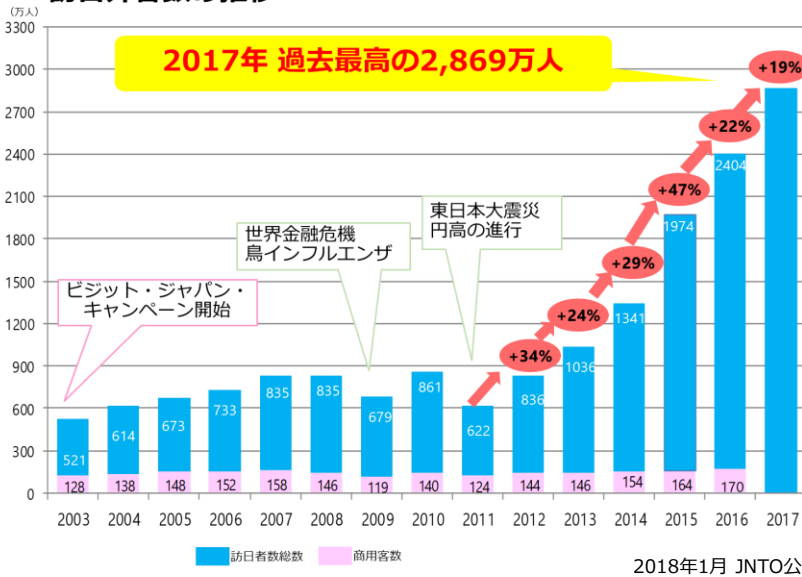
インドネシアで男女問わず好感度No.1の歌姫

2011年にデビュー。ジャズやポップスで、数多くのアワード受賞。インドネシアでは女優業も行う傍ら、得意の英語を生かして、マレーシア、タイ、ヨーロッパなどに活動の場を広げている。

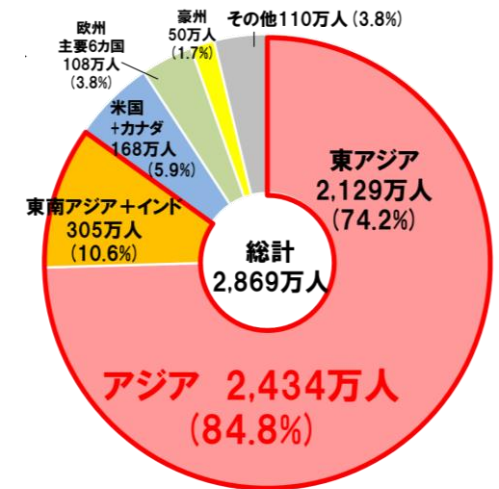
2017年の訪日外客数は過去最高を記録

訪日外客数は年々増加しており、**2017年の年計は前年比19.3%増の2,869万1,000人**と、昨年の2,403万9,700人から460万人以上を上回る成長をみせ、JNTOが統計を取り始めた1964年以降最多となりました。市場別の訪日外客数をみると、中国（736万人、+15.4%）と韓国（714万人、+40.3%）は全市場で初めて700万人台を突破しました。

訪日外客数の推移



2017年訪日外客の市場別状況 <市場別人数>



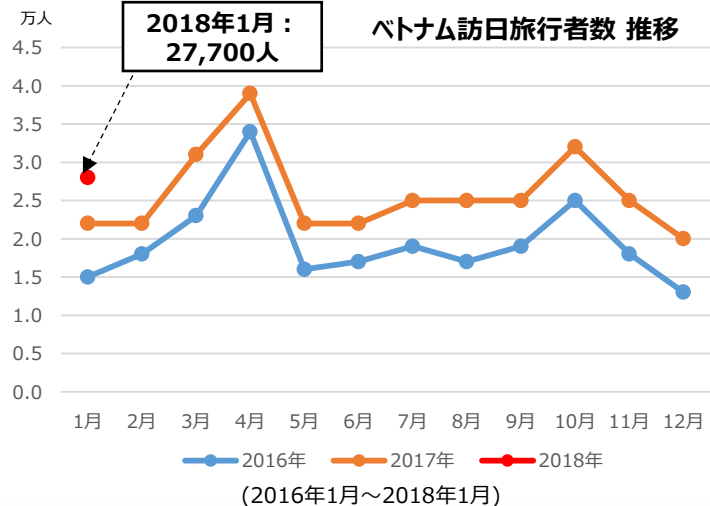
2018年1月 JNTO公表
グラフはビジット・ジャパン事業重点20市場の地域別構成比。

東南アジア地域からの訪日旅行者も増加

【ベトナム】

2017年のベトナムからの訪日旅行者数は 308,900 人で過去最高を記録。初めて年計で 30 万人を超え、好調に推移しました。団体旅行の割合が比較的高い同市場では、特に現地旅行会社に向けた取り組みを強化しています。

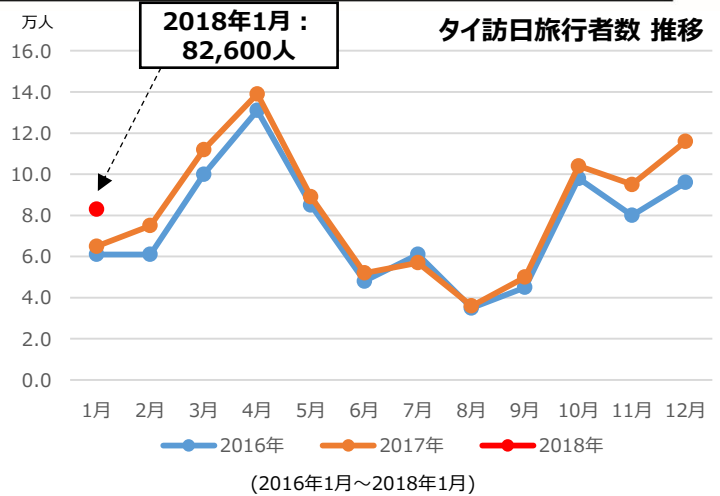
訪日時期の分散と新たな観光コンテンツの訴求を軸に、セミナー、商談会や旅行会社招請、現地旅行会社と連携した一般消費者向けキャンペーンや旅行博への出展などを実施しました。2017年9月には LCC として初となる直行便（関西-ハノイ/ダナン線）の新規就航や、多数のチャーター便の運航、報奨旅行の催行なども訪日者数の増加に寄与したと考えられます。



【タイ】

タイの訪日旅行者数は987,100人で過去最高を記録。7月を除く全ての月で同月過去最高を更新。特に年間最大の旅行シーズンであるソンクラーン（タイ正月）休暇のあった4月は、単月として過去最高となる138,559人を記録し、東南アジア市場からの訪日需要を牽引しました。

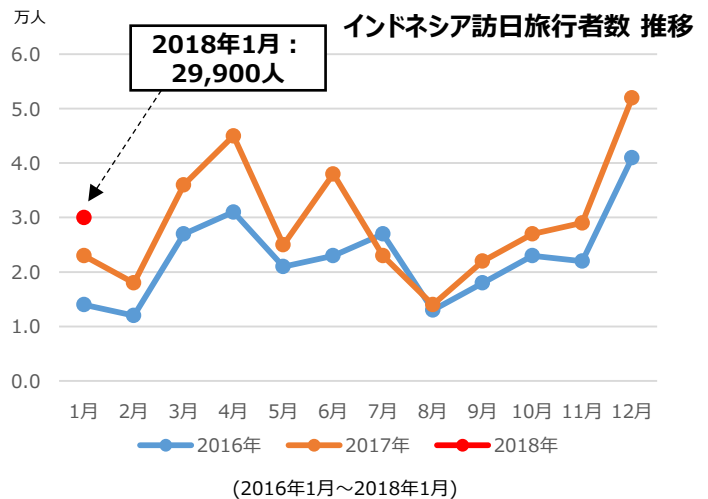
個人旅行やリピーターが増加傾向にあり、目的地の多様化も進みつつあることから、二次交通を活用した訪日旅行や地方の旅行スポットに関する情報発信など、地方への誘客を意識した取り組みを展開しています。



【インドネシア】

インドネシアの訪日旅行者数は352,200人で過去最高を記録、初めて年計で30万人を超えました。外国旅行需要自体が停滞する中、訪日旅行については、レバラン（断食明け大祭）休暇の時期が動いたことによる影響を受けた7月を除いて多くの月で前年同月比2桁以上の伸びを示すなど、大幅増となりました。

地方への誘客にも積極的に取り組んでおり、ウェブサイトやSNSでの情報発信や、現地旅行会社・メディアの招請のほか、ムスリム向けテレビ番組の取材支援を行い、ムスリムフレンドリーレストランや礼拝所など受入環境設備をPRするなど、ムスリム層への訪日意欲の喚起を図っています。



【東南アジア地域の特徴】

東南アジアのうち、インドネシアとベトナムの訪日外客数は初の30万人を超え、対前年比伸び率も共に30%を超えました。こうした急成長を見せる東南アジアの特徴として、SNSを観光の情報源とする点があります。

JNTO調査によると、旅行先を考えるきっかけの情報源として、「SNSから情報を取得する」と回答した上位5ヶ国の内、東南アジアが4ヶ国を占めていました。また、一番利用されているSNSはFacebook、次いでInstagramとなりました。

東南アジアにおいては特にSNSが、これからのプロモーションの一助となることが大きく期待されています。

海外旅行先としての興味を感じるきっかけとなる情報源として「SNS」と回答した人の国籍別順位

| | | |
|----|--------|-------|
| 1位 | フィリピン | 74.9% |
| 2位 | インドネシア | 65.6% |
| 3位 | インド | 60.7% |
| 4位 | タイ | 59.3% |
| 5位 | ベトナム | 58.4% |

n=14,201人（複数回答可）
2018年1月 JNTO調べ